

2023 年度 あいの風とやま鉄道 利用状況等

2024 年 6 月
あいの風とやま鉄道株式会社

2023 年度のあいの風とやま鉄道の利用者数は全体で約 14,468 千人(前年度比 729 千人 5.3%増)でした。

1 1日当たり利用者数

2023 年度の1日当たりの利用者数は、39,531 人で前年度を 1,890 人(5.0%)上回る結果となりました。

(1)利用者区分別の利用者数

利用者の区分別にみると、定期券利用者が 29,088 人で、うち通勤が 13,472 人、通学が 15,616 人となっており、定期外利用者は 10,443 人となっています。

それぞれの前年度比は、通勤が 592 人(4.6%)の増加、通学が△74 人(△0.5%)の減少、定期外が 1,371 人(15.1%)の増加となっています。

新型コロナウイルス感染拡大前の 2019 年度との比較では、△4.4%の減少となっており、コロナ前の水準に近づきつつあります。

表 1 利用者数等

区分	2023 年度	2022 年度	2019 年度	2023/2022	2023/2019
利用者数 (千人)	14,468	13,739	15,129	5.3%	△ 4.4%
1日当たり (人/日)	39,531	37,641	41,337	5.0%	△ 4.4%
定期利用者	29,088	28,569	30,506	1.8%	△ 4.6%
通勤	13,472	12,880	14,128	4.6%	△ 4.6%
通学	15,616	15,690	16,379	△ 0.5%	△ 4.7%
定期外利用者	10,443	9,072	10,830	15.1%	△ 3.6%
乗車券類	5,922	5,452	7,278	8.6%	△ 18.6%
ICカード	4,521	3,620	3,553	24.9%	27.2%

※ 端数処理あり

(2) 月別の利用者数

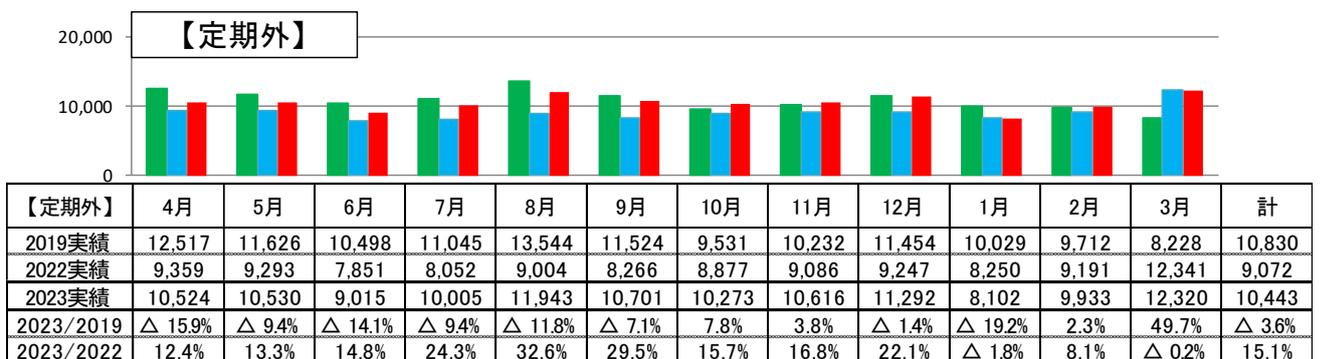
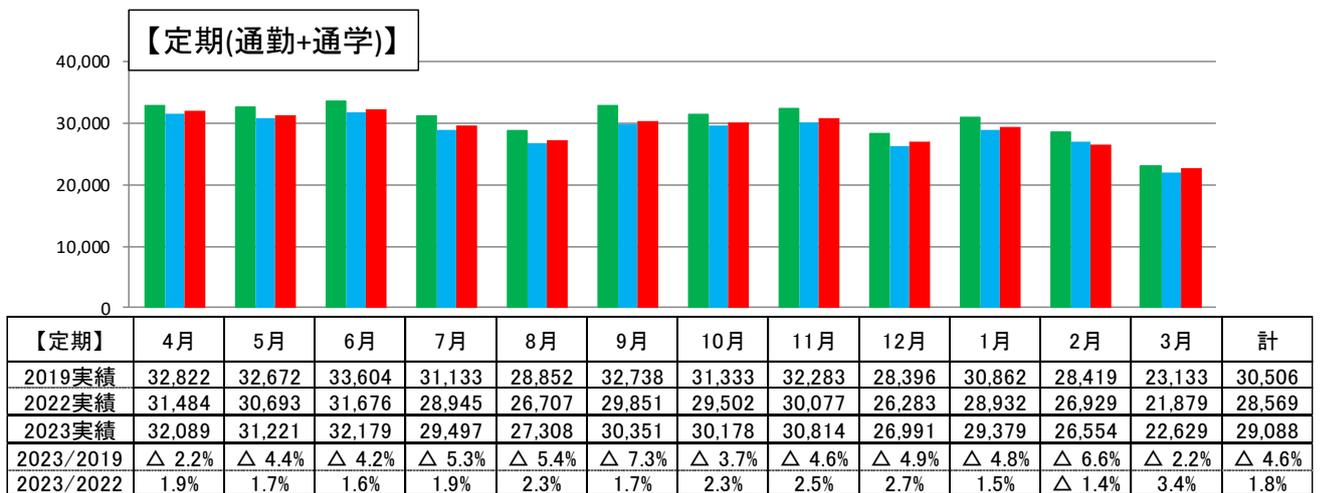
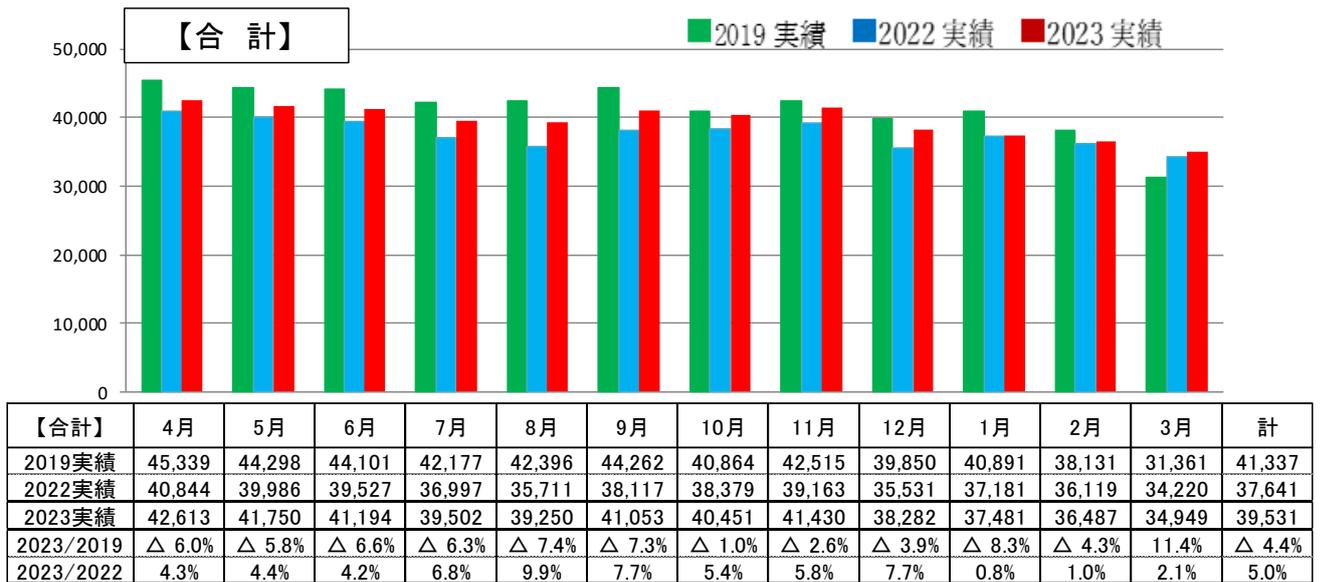
月別の1日当たりの利用者数は、前年度比で、合計では、4月から12月までは4%から9%台の伸び率で推移しましたが、1月は、能登半島地震の影響により伸び率は低減しました。

特に、定期外では、昨年5月のコロナの5類移行に伴う国内観光客やインバウンド客の増加等により、8月は30%を超えるなど、12月までは高い伸び率で推移しましたが、1月は、2023年度中で初めて伸び率がマイナスとなりました。

2019年度比でみると、合計では、4月から徐々にマイナス幅が縮小してきました。

なお、3月は、2019年度の3月がコロナの影響が出始めていたことから、その反動で大きく増加しています。

図1 1日当たり月別利用者数（単位 人/日）



※ 端数処理あり

2 駅別乗車人員、駅間通過人員等

当社線内の駅間の1キロ当たり通過人員数(輸送密度)は、富山駅・呉羽駅間が最も多く16,789人となっています。全線では、富山・高岡駅間で平均15,000人以上となっているほか、高岡・石動間で7,800人以上、富山・黒部間で7,600人以上の通過人員数となっています。全線平均では、7,361人となっています。

各駅の乗車人員数は、富山駅が11,932人、高岡駅が5,979人などとなっています。

図2 駅間通過人数と運行本数

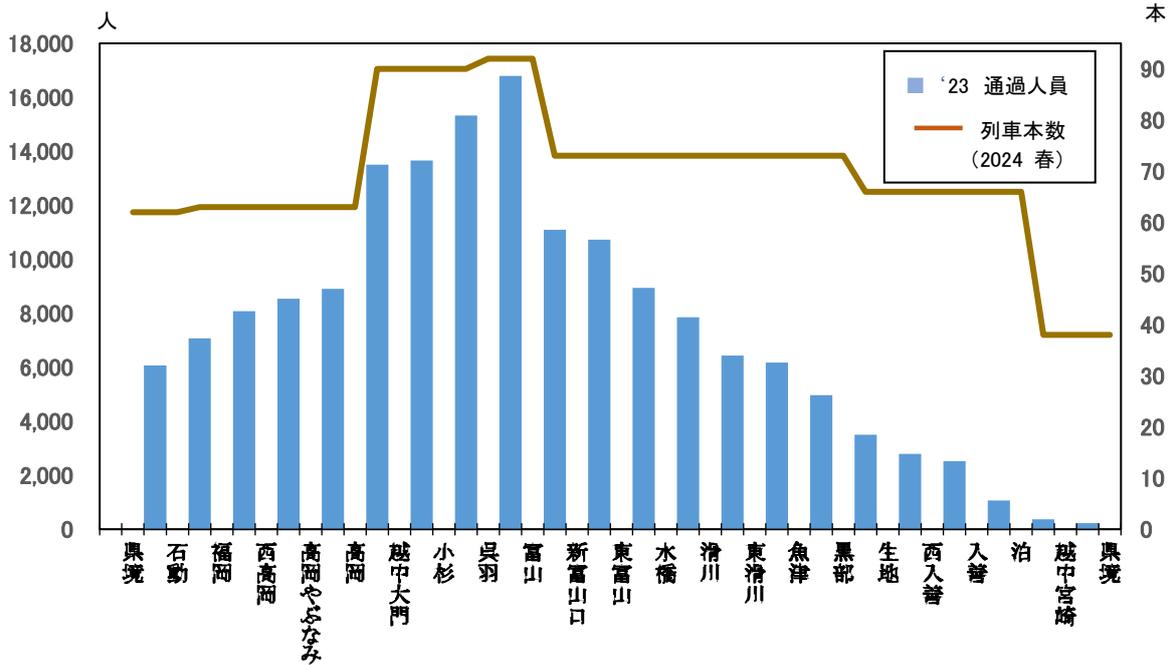


表2 駅別乗車人員数と駅間通過人員数(1日当たり)

(単位: 人/日)

区間	乗車人員	通過人員	通過人員 (平均)	運行本数	区間	乗車人員	通過人員	通過人員 (平均)	運行本数
県境以西	3,188				富山	11,932			
⇄		6,070	6,070	62	⇄		11,096		
石動	1,457				新富山口	385			
⇄		7,069			⇄		10,733		
福岡	931				東富山	1,437			
⇄		8,081			⇄		8,947		
西高岡	561		7,837	63	水橋	676			
⇄		8,542			⇄		7,859	7,676	73
高岡やぶなみ	545				滑川	1,308			
⇄		8,905			⇄		6,435		
高岡	5,979				東滑川	210			
⇄		13,512			⇄		6,175		
越中大門	1,034				魚津	1,856			
⇄		13,663		90	⇄		4,973		
小杉	3,178		15,014		黒部	1,197			
⇄		15,322			⇄		3,498		
呉羽	1,586				生地	446			
⇄		16,789		92	⇄		2,790		
富山	11,932				西入善	163			
					⇄		2,517	2,374	66
					入善	849			
					⇄		1,066		
					泊	413			
					⇄		369		
					越中宮崎	83			
					⇄		225	297	38
合計			7,361		県境以東	117			

※ 端数処理あり

3 運賃収益

2023年度の運賃収入額は2,920百万円で、前年度比では372百万円(14.6%)の増加となっています。

利用者数の増加率(5.3%)を上回る増加となったのは、運賃単価の高い定期外利用者が増加したこと、4月から運賃改定を実施(通勤定期 1.06 倍程度、通学定期 1.02 倍程度、普通運賃 1.06 倍程度)したことによるものです。

【増加額 372 百万円の内訳…利用者増加分約 242 百万円、運賃改定分約 130 百万円】

利用者内訳では、定期で通勤が 9.4%の増加、通学が 0.8%の増加、定期外で 22.4%の増加となっています。

JR切符の販売手数料収入も、JR線利用の増加に伴い、前年度比 41.1%の増加となっています。

2019年度との比較では、合計で 0.2%の増加となっています。

内訳では、定期で通勤が△1.9%の減少、通学が△2.0%の減少、定期外で 2.0%の増加となっています。

表3 2023年度 運賃収益額等

(単位：千円)

区 分			2023 年度	2022 年度	2019 年度	2023/2022	2023/2019	
運賃収益 (税抜)	定期	通 勤	830,370	759,102	846,835	9.4%	△ 1.9%	
		通 学	463,960	460,327	473,242	0.8%	△ 2.0%	
		計	1,294,330	1,219,430	1,320,077	6.1%	△ 2.0%	
	定期外	乗車券類	952,180	814,685	1,099,490	16.9%	△ 13.4%	
		ICカード	673,552	513,195	493,645	31.2%	36.4%	
		計	1,625,732	1,327,881	1,593,136	22.4%	2.0%	
	合 計			2,920,063	2,547,311	2,913,213	14.6%	0.2%
	JR切符販売手数料収入			37,804	26,799	43,695	41.1%	△ 13.5%

※ 端数処理あり